

多文化共生時代を生きる

## 多様な文化をもつ人たちの共生の場をつくろう!



神奈川県に住む外国人の数は20万人を超え、約40人に1人が外国籍の県民となります。私たちはさまざまな場で人と知り合い、関係を築き、個人としてのアイデンティティを形成していきます。多文化共生を地域の中から進めていくために、「居場所」を多様に作る必要があります。

日本における外国につながる人々の現状や県民による支援活動、法律・制度、支援策などについて理解を深め、多文化共生に向けた活動を始めるきっかけづくりを目的とした講座です。

【日程】令和3年**10月14日(木)**～**11月4日(木)** 全4回

【時間】**13:30～16:30** ※開場時間 13:10～

【会場】**かながわ県民センター11階 かながわコミュニティカレッジ講義室**

【受講料】**6,000円** 【定員】**30名** 【申込締切】**9月28日(火)**

※応募多数の場合は抽選 ※定員に満たない場合は引き続き先着順で受け付け（電話のみ）

## 講座カリキュラム

日時	内容	講師予定者
1 10/14(木) 13:30～ 16:30	オリエンテーション 持続可能な多文化共生地域・社会に向けて ～自治体政策を題材に考えてみる 外国につながる児童・生徒、保護者への支援の在り方 について	コーディネーター (公財)地方自治総合研究所 菅原 敏夫 神奈川県立地球市民かながわプラザ (あーすぷらざ) 加藤 佳代
2 10/21(木) 13:30～ 16:30	外国につながる子どもたちの就学保障についての調査 活動から 多文化共生社会へのこれまでと未来 国際協力や外国につながる人たちに関わる人材育 成を行ってきた立場から、多文化共生地域社会へ向 けて、私たちができること	認定 NPO 法人 WE21 ジャパン 理事長 藤井 あや子 東海大学教養学部国際学科 教授 小貫 大輔 コーディネーター (公財)地方自治総合研究所 菅原 敏夫
3 10/28(木) 13:30～ 16:30	外国につながりを持つ子どもたちの現状と課題 学習支援の意義、家庭への支援、学習支援の実際	多文化活動連絡協議会 代表 中村 ノーマン コーディネーター (公財)地方自治総合研究所 菅原 敏夫
4 11/4(木) 13:30～ 16:30	【ミニシンポジウム】 多文化共生の地域づくりへ向けて ・労働、生活相談から見える外国につながる人たちの現状 ・みんなの居場所びすた～りの活動	コーディネーター (公財)地方自治総合研究所 菅原 敏夫 横浜市中区カラバオの会 みんなの居場所びすた～り代表 永田 恵子 他1団体予定

※カリキュラム・講師は都合により変更になる場合があります。

【講座実施団体】特定非営利活動法人参加型システム研究所